

学長定例記者会見要項

日 時： 令和3年10月7日（木） 11：00～11：45
場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 令和3年度 学長特別講演会を開催します
2. 第63次南極地域観測隊に参加、2回目の南極へ
～夏隊・一般研究観測：極域の地殻進化の研究～
3. 有機EL技術を活かした高臨場感リモート診察システムの運用開始
4. 七日町商店街青年会トートバッグを本学学生がデザイン
～地域教育文化学部の学生が担当、七日町でのイベントなどで配布～
5. 上山市の果樹栽培支援に向けた地域連携の取り組み
 - (1) 地域×データ：西洋ナシの収穫適期判断に悩む産地をデータ収集・共有アプリで支援
 - (2) 地域×デザイン：上山産の西洋ナシを愛でる ^めかご を共同開発
～西洋ナシ食べ頃判断の解決と産地果実のブランド価値を高めるアイデア～

お知らせ

1. 山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信
～Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第2弾～
2. 公開講座「小説を書こう！」受講者を募集します
3. ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～
 - (1) やわらかアニマロイドってなに？－「ゲル」×「AI」、ロボットの未来の話をしよう－
 - (2) 未来の光 有機ELを自分でつくる－有機エレクトロニクスを体感する－
4. 山形大学公開講座「ヒマラヤは美味しい」のご案内
5. ピアニストの館野泉氏による公開講座を行います
～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～
6. 本学教員が定期演奏会で山形交響楽団と共演
～ピアニストとしても活躍中の三輪郁教授が地域の皆さんへ向け演奏披露～

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和3年11月4日（木）11：00～11：45
場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（10月7日）発表者

1. 令和3年度 学長特別講演会を開催します

学長

たまた ひでとし
玉手 英利

2. 第63次南極地域観測隊に参加、2回目の南極へ ～夏隊・一般研究観測：極域の地殻進化の研究～

学術研究院 准教授（地質学・岩石学）

か がしま しんいち
加々島 慎一

3. 有機EL技術を活かした高臨場感リモート診察システムの運用開始

学術研究院 教授（有機エレクトロニクス）

き ど じゅんじ
城戸 淳二

社会福祉法人米沢弘和会 執行役員・

介護老人保健施設サンファミリア米沢 副施設長

おおたけ まさみち
大武 政通

4. 七日町商店街青年会トートバッグを本学学生がデザイン ～地域教育文化学部の学生が担当、七日町でのイベントなどで配布～

地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創生コース 3年

さいとう ふみか
斎藤 文香

地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創生コース 3年

しょうじ あかね
庄子 朱音

七日町商店街青年会 会長

あべ ひろふみ
阿部 宏史

5. 上山市の果樹栽培支援に向けた地域連携の取り組み

(1)地域×データ：西洋ナシの収穫適期判断に悩む産地をデータ収集・共有アプリで支援

(2)地域×デザイン：上山産の西洋ナシを愛(め)でる かご を共同開発

～西洋ナシ食べ頃判断の解決と産地果実のブランド価値を高めるアイデア～

学術研究院 准教授（生物物理学）

おくの たかし
奥野 貴士

令和3年（2021年）10月7日

令和3年度 学長特別講演会を開催します

【本件のポイント】

- 山形大学の3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信することを目的とした学長主催の特別講演会を開催。
- 京都大学こころの未来研究センター教授、広井良典氏を講師に迎える。
- 「人口減少社会のデザイン」をテーマに、日本社会の未来を様々な角度から考察する。



【概要】

山形大学では、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、学長主催による特別講演会を開催します。本講演会は、国内外の多方面で活躍されている方を講師に迎え、様々なテーマのもとで、2015年度から開催しているもので、今回は、京都大学こころの未来研究センター教授の広井良典氏を講師にお迎えします。日本が世界のフロントランナーとして経験していく「人口減少社会のデザイン」を、AIを活用したシミュレーションなども踏まえながらお話いただきます。

参加費は無料で、オンライン会議システム Zoom のウェビナーによるオンラインセミナーです。インターネットを利用できる方はどなたでも受講可能です。

【講師プロフィール】

広井 良典 氏

京都大学こころの未来研究センター教授。専攻は公共政策、科学哲学。1961年岡山市生まれ。東京大学・同大学院修士課程修了後、旧厚生省勤務、千葉大学法政経学部教授を経て2016年より現職。この間、2001～02年マサチューセッツ工科大学（MIT）客員研究員。『日本の社会保障』（岩波書店、1999年）でエコノミスト賞、『コミュニティを問いなおす』（筑摩書房、2009年）で大仏次郎論壇賞受賞。主な著書に『ポスト資本主義』（岩波書店、2015年）、『人口減少社会のデザイン』（東洋経済新報社、2019年）など。

【講演会について】

タイトル：「人口減少社会のデザイン」

日時：令和3年11月4日（木）16:30～18:00

会場：オンライン（Zoom ウェビナー）

対象：学生、教職員、一般

受講料：無料

※詳細はホームページをご覧ください。

【申込方法】

下記の申込フォームよりお申し込みください。

(URL) <https://www.yamagata-u.ac.jp/form/r3pr/>

申込締切：10月28日（木）まで

受講申込者には、本講演会参加に必要な情報を、開催日前日までにメールでお知らせします。



お問い合わせ

総務部総務課秘書広報室

TEL 023-628-4008 メール yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和3年度

学長特別講演会



山形大学 学長
玉手 英利
Tamate Hidetoshi

人口減少 社会の デザイン

山形大学では、3つの使命「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を発信するため、国内外の多方面で活躍されている方を講師に迎え、学長主催による特別講演会を開催しています。今回は、京都大学こころの未来研究センター教授の広井良典氏を講師にお迎えして、AIを活用したシミュレーションなども踏まえながら日本社会の未来を様々な角度から考察します。

日時／2021.11.4(木)

16:30～18:00

会場／オンライン開催

(Zoomウェビナー)

- 対象：学生、教職員、一般
- 参加費：無料
- 申込締切：10月28日(木)まで



●お問い合わせ

【山形大学秘書広報室】

Tel／023-628-4008

Mail／yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

●申込方法：申込必須

下記URLもしくは上記QRコードからお申し込みください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/form/r3pr/>

受講申込者には、本講演会参加に必要な情報を開催日前日までにメールでお知らせします。

講師 広井良典氏

●本日の人口は2008年をピークに減少に転じました。これは明治時代の初め以降100数十年にわたって続いてきた、人口や経済が拡大を続けるのが当然だった時代からの根本的な転換を意味します。それは様々な難題を私たちに突きつけますが、視点を変えてみれば、「危機をチャンスに」という表現があるように、そこには様々なプラスの可能性が宿っているのではないのでしょうか。日本が世界のフロントランナーとして経験していく「人口減少社会のデザイン」を、AIを活用したシミュレーションなども踏まえながら幅広い角度から考えてみましょう。



広井 良典
Hiroi Yoshinori

●PROFILE／京都大学こころの未来研究センター教授。専攻は公共政策、科学哲学。東京大学・同大学院修士課程修了後、旧厚生省勤務、千葉大学法政経学部教授を経て2016年より現職。この間、2001～02年マサチューセッツ工科大学(MIT)客員研究員。「日本の社会保障」(岩波書店、1999年)でエコノミスト賞、「コミュニティを問いなおす」(筑摩書房、2009年)で大仏次郎論壇賞受賞。主な著書に「ポスト資本主義」(岩波書店、2015年)、「人口減少社会のデザイン」(東洋経済新報社、2019年)など。

令和3年（2021年）10月7日

第63次南極地域観測隊に参加、2回目の南極へ ～夏隊・一般研究観測：極域の地殻進化の研究～

【本件のポイント】

- 山形大学の加々島慎一准教授（地質学・岩石学／理学部主担当）が、第63次南極地域観測隊（夏隊）に参加します。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、10月下旬から検疫隔離、11月10日に南極観測船「しらせ」に乗船し、日本から南極へ向かいます。
- 昭和基地近傍へは12月中旬頃到達、南極大陸沿岸の露岩体でテント生活をしながら、来年2月頃まで地質調査・岩石試料採取を行う予定です。



【概要】

写真は、9月13日～16日地質隊物資梱包作業（極地研）にて、沿岸で使用するテントの設営・確認の様子

加々島准教授の南極観測隊への参加は、46次観測隊（夏隊）以来、17年ぶりとなります。昭和基地周辺の南極大陸は、約39億年前の太古代初期～約5億年前の古生代初期にかけての古い大陸地殻が分布しています。土壌や人工物などに邪魔されず、太古代～古生代の岩石を直接観察し採取できる世界でも非常に希少な地域の一つです。特に、加々島准教授は下記概要①のエンダビーランドにて太古代の火成活動の解明が主目的であり、日本の観測隊が未調査の露岩へのフライトを希望しています。観測隊計画の最終決定は10月の本部総会、また現地での海氷状況や天候やしらせ搭載ヘリの状況等によって、計画通りに進まない可能性もあります。南極では、ヘリにて露岩へ移動し、地質隊3名でテント生活をしながら地質調査・岩石試料採取（環境省の許可が必要）を行います。調査予定地（希望地）は別紙を参照してください。

【メンバー】

第63次南極地域観測隊は、越冬隊35人、夏隊39人が決定しています（9月10日現在、交代要員を含む）。詳細については、国立極地研究所のウェブサイトにて公開されていますのでそちらをご覧ください。

<https://www.nipr.ac.jp/antarctic/info/20210910.html>

○今回の夏隊・一般研究観測・地質隊は3名からなります。

馬場壮太郎（琉球大学教育学部・教授、第49次・58次夏隊）

加々島慎一（山形大学学術研究院・准教授、第46次夏隊）

中野伸彦（九州大学大学院比較社会文化研究院・准教授、第49次夏隊）

【63次隊の活動方針と地質隊の活動内容】

- (1) 南極観測隊は、昭和基地での観測継続に必要な人員交代と物資輸送が最優先されます。
- (2) 63次隊では、重点研究観測をはじめ、62次隊で見送った夏期研究観測を可能な限り実施します：今回の地質隊も本来は62次で実施される予定でした。
- (3) 地質隊の研究目的：約39億年前の太古代初期～5億年前の古生代初期にかけての大陸地殻進化についての情報を引き出すために、リュツォ・ホルム湾～プリンスオラフ海岸～エンダビーランド露岩域において、野外地質調査と岩石試料採取を実施します。
- (4) 地質隊の調査の概要：
 - ①エンダビーランド：これまでに日本の観測隊が未調査の露岩の地質調査および岩石試料採取を実施。原岩構成および火成活動を明らかにし、太古代の堆積岩類の生成環境や火成活動の特徴を考察し形成プロセスを提案。
 - ②プリンスオラフ海岸および③リュツォ・ホルム湾西岸ボツンネーセ地域：地体構造の再区分を目的として、未調査露岩やこれまであまり調査がされていない露岩などで地質調査および岩石試料採取を実施。

お問い合わせ

学術研究院 准教授 加々島慎一（地質学・岩石学／理学部主担当）

E-mail： kagashima@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

令和3年（2021年）10月7日

有機ELの技術を活かした高臨場感リモート診察システムの運用開始

【本件のポイント】

- 文部科学省COIプロジェクト^{※1}の快適空間創造部門にて、部門長の山形大学城戸淳二教授（有機エレクトロニクス／有機材料システム研究科担当）が有機ELディスプレイと有機EL照明を使用した高臨場感なりリモート診察システムを開発した。
- 実証実験として、介護老人保険施設である社会福祉法人米沢弘和会サンファミリア米沢に設置し、運用を始めた。
- 10月11～13日には酒田市の日本海総合病院、松山診療所と飛鳥診療所に設置し、運用を始める。



【概要】

山形大学では、文部科学省 COI プロジェクトの快適空間創造部門で有機 EL ディスプレイ、有機 EL 照明の研究開発を行ってきた。このたび、有機 EL ディスプレイの高画質、白色有機 EL 照明パネルの高演色性を活かした応用として、リモート診察システムを開発し、実証実験として、社会福祉法人米沢弘和会サンファミリア米沢に設置して、改良を加え、9月17日より本格運用を始めた。今後、現場の意見を取り入れながら更なる改良及び高機能化を行う。また、COI プロジェクト参画企業である NTT 東日本と共同で10月11～13日に酒田市の日本海総合病院、松山診療所と飛鳥診療所を本リモート診察システムに設置して運用を開始する。なお、本システムは、実証実験の結果を踏まえ、有機 EL 照明器具等企画開発製造販売会社 オーガニックライティング株式会社(山形県米沢市)より、年内をめどに製品化を予定している。

【背景と経緯】

コロナ禍において介護施設や病院での感染クラスターの発生が大きな問題となっている。そこで、医師と利用者、患者が直接対面する事なく、また遠方からでもすぐに診察できるリモート診察システムの導入が急務となっている。しかし、現在のリモート診察システムは、単にパソコンやタブレット、スマホなどで、医師と患者らが会話をするだけの機能しかなく、顔色など病状の診断に不可欠な情報が不足している。

本システムでは、より高臨場感な診察を可能にするために、演色性の高い白色有機 EL 照明で患者らを照らし、医師は高画質の有機 EL ディスプレイを使用することにより、自然に近い色合いで顔色や表情などを観察することができるようになる。まず、サンファミリア米沢の館内でオフィスの医師と利用者を繋いでリモートで診察し、さらには外部の医師のクリニックと入居者を繋ぐまで発展させる。

また、無医村でのへき地医療においても、リモート診察は住民の安心、安全な生活に不可欠であり、まず無医島である酒田市沖の飛鳥の診療所と酒田市の日本海総合病院、松山診療所をリモート診察システムで繋いでの実証実験を NTT 東日本との共同で開始する。今後、日本国内に本システムを普及させることにより、医師不足で悩む地方での安心した暮らしが期待できる。

お問い合わせ

学術研究院 教授 城戸淳二（有機エレクトロニクス／有機材料システム研究科担当）
TEL 0238-26-3052 メール kid@yz.yamagata-u.ac.jp

【参考】

- ・オーガニックライティング株式会社（山形県米沢市）：
＜事業内容＞ 有機ELデザイン照明機器・オブジェ等の応用商品の企画・デザイン・開発・販売。
2009年設立の山形大学発ベンチャー。

※用語解説

COI プロジェクト： センター・オブ・イノベーション（COI）プログラムとは、文部科学省が基礎研究段階から実用化を目指した産学連携による研究開発を支援するものです。10年後の目指すべき社会映像を見据えたビジョン主導型のチャレンジング・ハイリスクな研究開発を支援しています。（実施期間：2013年度～2021年度）

令和3年（2021年）10月7日

七日町商店街青年会トートバッグを本学学生がデザイン ～地域教育文化学部が担当、七日町でのイベントなどで配布～

【本件のポイント】

- 七日町商店街青年会設立60周年記念トートバッグを地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースの美術系研究室に所属する3年生9名がデザインした。
- 七日町をイメージした建物の配置で「七」の文字が浮かび上がるデザイン。
- トートバッグは同会のノベルティとして、七日町で開催するイベントなどで配布される。



【概要】

地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースの美術系研究室に所属する3年生9名が、七日町商店街青年会（山形市）の設立60周年記念トートバッグをデザインしました。同会が「新型コロナウイルスの影響で、通常の学生生活を過ごせない学生達のモチベーションアップにつながれば」と考え、文化創生コースで美術やデザインを学ぶ学生達に依頼しました。学生達は依頼を受けた後、合計20点のデザイン案を作成。同会と打ち合わせを重ね、七日町をイメージした街並みのイラストに「七」の文字が浮かび上がるデザインになりました。トートバッグは9月30日に完成し、10月9日の街なか賑わいフェスティバルから配布を開始します。

【トートバッグについて】

サスティナブル（持続可能）を切り口とした、環境への負荷が少ないオーガニックコットン素材を使用しています。サイズはM（360×370×110ミリメートル）とSサイズ（300×200×100ミリメートル）の2種類があります。新旧が融合した七日町の建物の配置で「七」の文字が浮かび上がるようなデザインで、同会メンバーをイメージした若者が街の案内をしたり、街歩きを楽しんだりしている様子も描いています。今後は、七日町で開催するイベントでのノベルティとして配布活動を行い、バッグを持参した人向けのサービスなども検討しています。

【七日町商店街青年会について】

1961（昭和36）年に設立。七日町商店街振興組合に加入する事業所に勤務する45未満の青年で構成されています。社会への奉仕及び会員相互の親睦を図り七日町商店街発展のために寄与することを目的とし活動しており、主な事業として、毎月7日の一斉朝清掃や先進事例を学ぶための視察研修、七日町コンなどの各種イベントを実施しています。

お問い合わせ

七日町商店街振興組合 TEL.023-631-6368

エクステンションサービス推進本部 TEL.023-628-4779

令和3年（2021年）10月7日

地域×データ：西洋ナシの収穫適期判断に悩む産地をデータ収集・共有アプリで支援

【本件のポイント】

- 上山市で産地化が進むリーガルレッドコムスや希少品種の収穫適期の見定めには、生産者の経験/技術と経日/年的な果実データが必要である。
- 生産者数が減少する産地において、各生産者が、計測した果実データをアップロードし、その場でグラフ化/共有できるアプリ機能を作成した。
- 今年は、オーロラとリーガルレッドコムス栽培者にご協力いただき、データ収集法やアプリを果樹栽培支援システム「かるほく」^(※1)で試験し、次年度の本運用を目指す。

【概要】



山形大学学術研究院の奥野貴士准教授（生物物理学）は上山市と連携し、果実の収穫適期情報等を提供するシステム開発を行うほか、大学の知見を活かし、次世代の生産者育成も視野に入れた活動を展開している。

上山市では、赤色の西洋ナシ（リーガルレッドコムス）の産地化や希少品種の栽培が行われている。西洋ナシの場合、特に収穫適期の判断は、果実の食味に大きく影響し、生産者の知識・技術が問われるポイントである。希少品種や新たな西洋ナシを導入するには、産地独自で収穫日の目安となるデータ収集が、高品質な果実栽培に必要である。そこで、果実の栽培管理のデータ収集方法に、市民科学の概念を取り入れ、各生産者が計測した果実データを、集約/共有できる機能を「かるほく」に試験的に実装した。今年は、オーロラとリーガルレッドコムス栽培者にデータ収集やアプリ試用にご協力をいただき、今シーズンの収穫適期の判断に利用いただいた。今後は、試験運用で明らかになった課題を解決し、次年度の「かるほく」での本運用を目指す。

【背景】

上山市は、棚仕立ての西洋ナシ産地であり、収穫前には、果実が整然と棚下にたわわに実り、上山が世界に誇れる秋の風景である。しかし、生産者数が減少し、子供たちが果樹栽培に夢を描ける社会作りが重要な課題である。生産者数が減少する中で、これまで培われてきた独自の棚仕立ての栽培技術の継承と発展が、持続的な社会（産地）作りに必要である。栽培管理に関する情報も、ネットで効率的に収集する時代だが、地域の風土にあった独自栽培方法/工夫は、ネット環境に載っていないことが多い。少ない生産者でも、協働的に地域の栽培管理に関する情報を既存の組織の垣根を超えて、集約/共有する新しい取り組みを、今から準備する必要があると考える。

【研究手法・研究成果】

西洋ナシの栽培管理（特に収穫適期）に関する情報を、各生産者が組織の垣根を超えて持ち寄り/共有する仕組みは、栽培しやすい地域作りの一つの方策となる可能性がある。そこで、果実の栽培管理のデータ収集方法に、市民科学の概念を取り入れ、各生産者が計測した果実データを、集約/共有できる機能を「かるほく」に試験的に実装した。アプリ開発はフェイバーエンジニアリング社（鶴岡市）と共同で行なった。今年は、オーロラとリーガルレッドコムス栽培者にデータ収集方法を実践いただいたり、アプリを使ったデータのアップロードとグラフによるデータ可視化/共有にご協力をいただいた。そして、実際に今シーズンの収穫適期の判断に利用いただいた。

お問い合わせ

学術研究院 准教授 奥野貴士（生物物理学／理学部主担当）

TEL 023-628-4580 メール okuno@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

【今後の展望】

今後は、試験運用で明らかになった課題を解決し、次年度の「かるほく」での本運用を目指す。また、STEM 教育^(※2)にも利用できる市民科学用の独自アプリを今年度内を目処にリリースする。

【参考】

株式会社フェイバーエンジニアリング（山形県鶴岡市）

<事業内容>組み込みソフトウェアを中心に電子機器システムの設計開発や新しいソフトウェアや画像処理関連のサービスを提供。

※用語解説

1. かるほく：上山市と山形大学の奥野貴士准教授が共同で開発したスマートフォン向けのアプリケーション。市内の園地数カ所に定点カメラを設置し、撮影した果実画像と気象などのデータを大学が解析し、より良い収穫のタイミングをグラフなどで伝えることで最適な収穫期がわかるほか、霜害アラート機能などにより、市内農家の良質な果物の生産をサポートする。
2. STEM 教育：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の分野を統合的に学び、将来、科学技術の発展に寄与できる人材を育てることを目的とした教育プラン。

令和3年（2021年）10月7日

地域×デザイン：上山産の西洋ナシを愛でる ^めかご を共同開発 ～西洋ナシ食べ頃判断の解決と産地果実のブランド価値を高めるアイデア～

【本件のポイント】

- ギャラリーかご（上山市）と山形大学の奥野貴士准教授（生物物理学）は、産地の西洋ナシのブランド価値を高めるために、西洋ナシ追熟用のかごを新たに開発した。
- 美しい形の西洋ナシをインテリアとして飾り、追熟を楽しむと同時に、西洋ナシの課題であった食べ頃を逃しにくくなるメリットがある。



【概要】

ギャラリーかご（上山市）と山形大学の奥野貴士准教授は、産地の西洋ナシのブランド価値を高めるために、西洋ナシ追熟用のかごを共同で開発した。美しい形の西洋ナシをインテリアとして飾り、追熟を楽しめると同時に、西洋ナシの課題であった食べ頃を逃しにくくなるメリットがある。籠は、自然環境に優しいアケビの蔓を素材とし、上山の柔らかい雪の結晶をモチーフとし、壁やテーブルに果実を飾り、編み目越しに西洋ナシが楽しめるデザインとなっている。

【背景】

上山市は、棚仕立ての西洋ナシ産地であり、収穫前には、果実が整然と棚下にたわわに実り、上山が世界に誇れる秋の風景である。しかし、生産者数が減少し、子供たちが果樹栽培に夢を描ける社会作りが重要な課題である。奥野准教授（山形大学）と上山市が連携し、持続的に果樹栽培できる地域作りの一環として、上山産果実のブランディングに取り組んでいる。産地の西洋ナシの美味しさを消費者に伝える課題の一つに、消費者の食べ頃の判断がカギとなる。今回、奥野は食べ頃判断の解決策として、「人の気持ち」や「生活環境」の視点から課題解決にアプローチした。贈答用の西洋ナシを受け取った方は、食べ頃になるまで室内で追熟させるが、箱の置き場所や追熟を逃さないように随時、箱を開けたりする必要がある。つまり、西洋ナシと共に心配を送ってしまう場合もある。

今回、産地の美味しい/美しい果実を消費者に知って貰いたいと思う三者（ギャラリーかご、上山市担当者、奥野）が、雪をも溶かす熱い気持ちで、西洋ナシの追熟用の籠の開発に至った。

【研究手法・研究成果】

消費者が果実の食べ頃を逃さないために、贈答用の箱から出し、果物を飾る（愛でる）というコンセプトで、デザイン性の高い籠を開発した。生活空間に常に果実が目に入るため、食べ頃のタイミングを逃しにくい。テーブル/カウンターだけでなく、スペースを取らない壁にも飾れるスリムなデザイン。籠は、上山のやわらかい雪の結晶をモチーフとし、素材には環境負荷の低いアケビの蔓を採用し、地域思う気持ちも表現する。

本質的な果物の良さとデザイン性のある籠がセットになりブランド力を高め、上山産の果実を知ってもらうために、通常の販売形態ではなく、ふるさと納税返礼品として申込を予定する。デザインが産地の果実のブランド価値を高める可能性に期待する。

【今後の展望】

科学×ヒトで、地域に新しい価値を創生していく。また、今年12月には「かるほく未来創造ラボ」を開催し、上山市の小学生を対象とした科学教室とコラボした籠を編むクラフト体験を開催予定。

お問い合わせ

学術研究院 准教授 奥野貴士（生物物理学／理学部主担当）

TEL 023-628-4580 メール okuno@sci.kj.yamagata-u.ac.jp



上山の
果実を愛でる



開発の背景

西洋ナシの多くは、購入後、自分好みの追熟加減で美味しく頂く果物です。
”追熟”を楽しみながら美味しく食べるコンセプトの商品を開発しました。

贈答用の西洋ナシの多くは、箱で送られます。箱に入れたままでは、せっかくの
果実が見れません。また、追熟を確認するために、時々開ける必要がありますし、
箱の置く場所に困る場合もあります。デザイン性が高く、インテリアとして
西洋ナシの追熟を楽しめる道具とのコラボレーションで上山産の果実の良さを
消費者に伝えたいと思いから開発に至りました。

籠について

上山市のギャラリーかごが、西洋ナシなどの果物を飾るために、新たにデ
ザインした籠です。自然に優しいアケビの蔓を素材とし、クリエイターが
一つ一つ編み上げた一点ものの籠です。籠の網目は雪の結晶をモチーフと
し、上山の柔らかい雪を表現しています。

果物を愛でるとは

果実の美しさを鑑賞したい
贈る方の気持ちを飾りたい
西洋ナシの追熟を楽しみたい
などの果物に対する思い

上山の果物を想う気持ちから、山形大学が商
品のコンセプトを提案し、ギャラリーかごが
形とし、上山市のオリジナルサイト返礼品
で、上山の旬の果実とのセット取り扱いま
す。（産官学連携事業）



令和3年(2021年)10月7日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信

～Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第2弾～

山形大学の学生が本県村山地域の企業で活躍する若手社員への取材記事をInstagramで発信中。2年目となる今年度は製造業に加え、建設、情報通信、卸売、福祉等サービス業の企業も取材対象とし、閲覧者層の拡大を目指します。

2. 公開講座「小説を書こう！」受講者を募集します

山形大学では2014年度以降毎年開催している公開講座「小説を書こう！」を今年度も開講します。受講される方は自作未発表の小説を提出していただき、合評と直木賞作家の高橋義夫さんのアドバイスを受けることができます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に続き通信指導形式で開講します。

3. ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～

(1) やわらかアニマロイドってなに？－「ゲル」×「AI」、ロボットの未来の話をしよう－
3Dプリンターで作られたアニマロイド。AIを搭載して人の感情に反応したり本物の生き物みたいに涙を流したりします。やわらかアニマロイドのある未来の暮らしを一緒に考えましょう。

(2) 未来の光 有機ELを自分でつくる－有機エレクトロニクスを体感する－

次世代薄型テレビや低消費電力照明として期待されている「有機EL」の原理を、実験を通して楽しく学び、体験できるプログラムです。

4. 山形大学公開講座「ヒマラヤは美味しい」のご案内

令和3年度山形大学公開講座「ヒマラヤは美味しい」を開催します。ヒマラヤ地域の地理的位置、地形的特徴、気候、植生および栽培植物について学び、また、現地の人々の日常的な食事（ダル・バート）を実際に作って試食します。

5. ピアニストの舘野泉氏による公開講座を行います

～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～

ピアニストの舘野泉氏による公開講座を行います。2017年度から実施している山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業で、今回で8回目となります。

日 時 令和3年11月15日（月）18:30 開演

会 場 山形大学文化ホール

6. 本学教員が定期演奏会で山形交響楽団と共演

～ピアニストとしても活躍中の三輪郁教授が地域の皆さんへ向け演奏披露～

山形交響楽団の定期演奏会に、ソリストとして本学教員・ピアニストとして活躍中の三輪郁教授が出演します。

開催日時：令和3年10月23日（土）19:00 開演、10月24日（日）15:00 開演

会 場：山形テルサホール

令和3年（2021年）10月7日

山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信 ～Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第2弾～

【本件のポイント】

- 山形大学の学生が、山形県村山地域の企業で活躍する若手社員を取材
- 「働きやすい」「多様な職種」「女性も活躍」をキーワードに、村山地域で働くこと、暮らすことの魅力をまとめた記事を作成し、Instagramで発信
- 2年目となる今年度は製造業に加え、建設、情報通信、卸売、福祉等サービス業の企業も取材対象とし、閲覧者層の拡大を目指す



(株) ウンノハウス（山形市）への取材

【概要】

山形大学生が村山地域の企業で活躍する若手社員を取材し、山形県村山地域で働くことの良さ、暮らすことの良さ等を、学生の視点から紹介した記事をInstagramで発信しています。

現在、人文社会科学部等の学生24名が分担して企業25社に訪問し、取材を行っています。学生と年齢の近い社員に対してインタビューを行い、仕事内容だけでなく「働きやすさ」という点からも村山地域で働くことや暮らすことの良さを聞き取りました。加えて、女性が活躍するための企業の取り組みについても伺いました。取材先企業は製造業に加え、建設、情報通信、卸売、福祉等サービス業を含んでおり、村山地域で働く際の企業・職種の多様性を示すようにしました。

取材記事は10月6日からInstagram（アカウント @yamagata.work_life）に掲載を開始し、1月末にかけて順次掲載していきます。ぜひご覧ください。

なおこの事業は、2020年度から人文社会科学部やまがた地域社会研究所が山形県村山総合支庁から受託して実施しており、取材した学生自身にも、山形での就職への関心を高めるきっかけになることを期待しています。

【取材記事の掲載先】



Instagramアカウント @yamagata.work_life
「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」



YAMAGATA.WORK.LIFE

※Instagramのハッシュタグ #よしよしむらやま でも記事を検索できます。

※Instagramの記事をまとめたものは山形県ホームページでも公開しています。

https://www.pref.yamagata.jp/301041/sangyo/sangyoushinkou/murayamachiikikigyou/yoshiyoshi_murayama.html

【これまでの成果】

2020年度は118本の記事を作成してInstagramで配信し、昨年度3月末時点でのべ2万1千人以上の方に閲覧いただきました。取材企業向けのアンケートでは自社の認知度向上につながったというご意見をいただきました。

【令和3年度の取り組み】

今年度は製造業に加え、製造業以外の企業を希望する若者にも見てもらえるよう、建設、情報通信、卸売、福祉等のサービス業を追加しました。また、一部に動画を掲載し、現場の雰囲気が伝わるよう工夫しています。



Instagramの掲載例（2020年度）

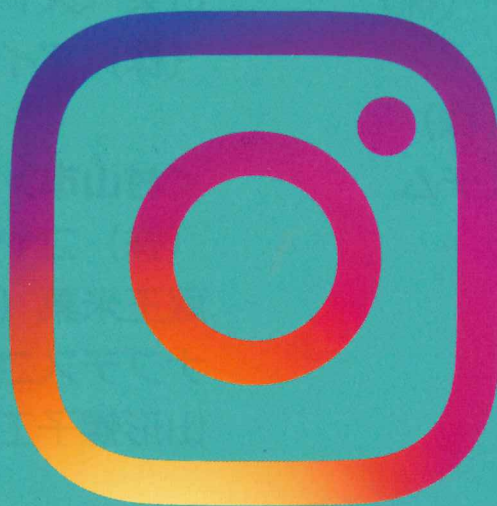
お問い合わせ

学術研究院 准教授 吉原 元子（人文社会科学部主担当）

TEL 023-628-4256 メール motoko@human.kj.yamagata-u.ac.jp

Let's Find it Together!
2021

働いてよし
暮らしてよし
むらやまの企業



山形県村山地域で活躍する若手社員を山形大生が紹介しています！
「働いてよし」& 「暮らしてよし」な村山地域・企業の魅力を見つけよう！



YAMAGATA.WORK_LIFE

#よしよしむらやま

#山形で働く

令和3年度 働いてよし、暮らしてよし 村山の企業情報発信事業
山形県村山総合支庁産業経済部地域産業経済課 TEL 023-621-8438
受託：山形大学人文社会科学部やまがた地域社会研究所

掲載企業一覧

令和3年度 働いてよし、暮らしてよし 村山の企業情報発信事業

<山形市>

(株) アサヒマーケティング
(株) ウンノハウス
(株) サニックス
サンフウ精密 (株)
(株) 鈴木製作所
第一貨物 (株)
田宮印刷 (株)
(株) でん六
東北電化工業 (株)
ミドリオートレザー (株)
(株) ヤマコー
山形パナソニック (株)
(株) YCC情報システム

<上山市>

(株) 片桐製作所

<天童市>

(株) デンソーFA山形
日新製薬 (株)

<東根市>

アイジー工業 (株)
(株) 山本製作所

<寒河江市>

(特非) あじさい
日東ベスト (株)
(株) マイスター

<村山市>

(株) コヤマ
蔵王米菓 (株)
ナブテスコオートモーティブ (株)
山形螺子工業 (株)

(順不同)



Instagramのまとめ記事(詳細版)は、
山形県ホームページにも公開中！
「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」

令和2年度に取材した企業

<山形市>

アリオンテック (株)
サンフウ精密 (株)
(株) 鈴木製作所
スズキハイテック (株)
ミクロン精密 (株)
(株) メドテック

<寒河江市>

佐藤繊維 (株)
(株) スガサワ
(株) スペースパーツ山形
日東ベスト (株)
(株) マイスター
TPR工業 (株)

<天童市>

(株) デンソーFA山形
日新製薬 (株)

<東根市>

アイジー工業 (株)
山形カシオ (株)
(株) 山形サンケン
(株) 山本製作所

<尾花沢市>

オプテックス工業 (株)

<大江町>

(株) 小堀製作所

(順不同)

令和3年（2021年）10月7日

公開講座「小説を書こう！」受講者を募集します

【本件のポイント】

- 小説家を目指す方も趣味で小説を楽しみたい方も受講できる公開講座
- 直木賞作家 高橋義夫氏が指導
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も通信指導形式で開講
- 感染状況が好転した場合は対面講義も何回か実施を検討。その場合、遠隔地在住や日程不都合等の事情がある方や希望者にはオンラインか録画で配信。



右下が高橋義夫氏

【概要】

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も通信指導形式で開講します。
山形大学では平成26年度以降毎年開催している公開講座「小説を書こう！」を今年度も開講します。
受講される方は自作未発表の小説を提出していただき、直木賞作家の高橋義夫さんのアドバイスを受けることができます。全作品とアドバイスは受講生全員に配付します（10回程度の送付を想定）。加えて交流・情報交換のため携帯電話・PC等にメールマガジンを配信します。山形大学学術研究院の山本陽史教授（日本文学）がサポートします。プロを目指す方も趣味として小説を書き続けたい方も奮ってご参加ください。
なお、来学の必要がないため、県外など遠隔地からの受講も可能です。

- 日 程：令和3年11月1日(月)～令和4年1月31日(月) ※延長する場合があります。
- 形 式：通信指導
- 受講料：一般 6,000円／大学生・高校生 2,000円
※お申込み後、指定の口座をお知らせしますので、受講前までにお振込みください。
- 受講資格：高校生以上であればどなたでも受講できます。
- 講 師：高橋義夫氏（作家）1945年生まれ。早稲田大学文学部フランス文学科卒業。
「狼奉行」で直木賞受賞。近著に『火付盗賊改』（中公新書）
山本陽史（山形大学教授（日本文学））
- 定 員：30名（申込順に受け付け、順次受講票をお送りします。）
- 受 付：10月11日(月)～10月22日(金)（定員に達し次第終了）
- お申込み：メールまたはFAXにてお申し込みください。（電話でのお申込みは受け付けておりません。）

以下の事項を記載のうえ、以下のお申込み先へ送信してください。

- 1.お名前（振り仮名も）
- 2.区分（一般／大学生・高校生）
- 3.郵便番号
- 4.ご住所
- 5.携帯電話番号
- 6.ファックス（任意）
- 7.電子メールアドレス（携帯アドレスも可）

〔メール〕 yu-enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
〔FAX〕 023-628-4144

（お問合せ先）

- お申込みに関すること
エンロールメント・マネジメント部入試課
Tel：023-628-4062
- 講座の内容に関すること
学術研究院教授（EM部担当）山本陽史
e-mail：yamaharu★yz.yamagata-u.ac.jp
（メールアドレスの★は@に置き換えてください。）

令和3年度山形大学公開講座
「小説を書こう！」
通信指導講座受講者募集



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も通信講座として開催します。



直木賞作家高橋義夫さんを講師に招き、山本陽史本学
学術研究院教授とともに小説の書き方を指導する講座
です。2014年から開講しています。プロの小説家を目指
す方、趣味として小説を書きたい方、小説が生まれるプ
ロセスを知りたい方、年齢・性別・職業を問わずどなた
高橋義夫氏(右下)でも受講できます。未発表作品を郵送か電子メールで提出していただ
きます。受講生の交流・情報交換のため、提出作品と講師のアドバイス、他の受講生
の感想を掲載したメールマガジンを随時発行します(希望者には印刷して郵送します)。
※感染状況が好転すれば対面講義も何回か企画します。対面でも遠隔地在住や日程不都
合等の事情や希望によりオンラインか録画配信します。状況を見て可否を判断します。

日 程：令和3(2021)年11月1日～令和4年1月31日(予定)

受講料：一般 6,000円／大学生・高校生 2,000円

※お申込み後指定の口座をお知らせしますので、講座開始までにお振込みください。

振込手数料は受講者負担となります。

定 員：30名 ※先着順に受け付け、順次受講票をお送りします。

申込期間：10月11日(月)～10月22日(金) (定員に達し次第終了)

申込方法：メールまたはFAXにてお申し込み下さい。

※電話での申込は受け付けておりません。ご了承下さい。

①メールの場合

以下の事項を記載のうえ、以下のお問合せアドレスへ送信してください。

1. お名前(振り仮名も) 2. 区分(一般/大学生・高校生)
3. 郵便番号 4. ご住所 5. 携帯電話番号 6. ファックス(任意)

②ファックスの場合

下の申込票に記載のうえ、FAX番号023-628-4144へ送信してください。

備考：・作品提出方法はお申込み後に直接ご連絡します。

・大学に作品を郵送等される場合の料金は各自ご負担いただきます。

お問合せ：山形大学エンrollment・マネジメント部

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL:023-628-4062

Mail:yu-enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

申込票

山形大学公開講座「小説を書こう！」の受講を申し込みます。

お名前(振り仮名も):	区分(どちらかに○): 一般 大学生・高校生
ご住所:〒	
携帯電話番号:	ファックス(任意):
電子メールアドレス(携帯アドレスも可):	

参加
無料

～ようこそ大学の研究室へ～

やわらかさを
感じてみよう!やわらかアニマロイドってなに？
—「ゲル」×「AI」、ロボットの未来の話をしよう—

ゲルは、ほとんどが水なのに形が保たれている面白い材料です。

プルプルしていて触ると気持ちがいいです。

私たちは最先端の3Dプリンターを開発し、その特徴的な触感を持つアニマロイドを作りました。

簡単に言うと「ゲルでできたやわらかい動物ロボット」です。

AIを搭載していて人の感情に反応したり、本当の生きものみたいに涙を流したりします。

実際に触ったり、また、どんな仕組みなのか開発者の話を聞いてみたいりませんか？

やわらかアニマロイドのある未来の暮らしを一緒に考えましょう。

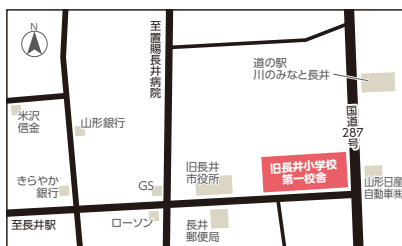
山形大学大学院
理工学研究科ふるかわ ひでみつ
古川 英光 教授

開催日時 2021年 11月14日 13:30-16:45

開催場所 長井市旧長井小学校第一校舎
〒993-0001 山形県長井市ままの上5番3号

対象 中学生(10名)

申込締切 2021年10月19日(火)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。
※参加にあたっては保護者の同意が必要です。

事業の詳細内容はHPからご覧ください

ひらとき 検索

当日のスケジュール

受付を済ませ、13:30までに会場にお集まりください。
※筆記用具をご持参ください。

13:00～13:30	受付、開場(長井市・旧長井小学校第一校舎 正面玄関集合)
13:30～13:45	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の紹介)
13:45～14:15	講義①「ゲルって何？3Dゲルプリンターってどういう仕組みなの？」
14:15～14:45	講義②「やわらかアニマロイドと過ごす未来を想像しよう！」
14:45～15:00	休憩
15:00～15:30	実習①「繋げて動かすやわらかブロックでアニマロイドを創ろう(構造編)」
15:30～16:00	実習②「繋げて動かすやわらかブロックでアニマロイドを創ろう(開発編)」
16:00～16:15	休憩
16:15～16:30	ディスカッション(成果発表会)
16:30～16:45	修了式(未来博士号授与)、解散

山形大学米沢キャンパスの「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)における活動指針」に従い、感染防止対策を講じた上で実施予定です。今後の状況次第では、本学の活動レベルに応じて、プログラムの開催中止や感染が拡大している地域からの参加を制限する可能性があることをご了承ください。※現在(令和3年10月7日時点)は「活動レベル【2】」で、緊急事態宣言の対象地域及びまん延防止等重点措置の対象地域からの参加は不可とします。※最新の状況は山形大学のホームページにてご確認ください。

■ ホームページからお申し込みください

https://www.jsps.go.jp/hirameki/06_sanka.html

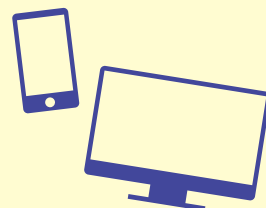
※「(1)Webから申し込む場合」の手順に沿って、申し込みをしてください。



※参加の可否は後日通知いたします。

お問合わせ先 山形大学米沢キャンパス研究支援課

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16 TEL.0238-26-3004 E-mail: koukenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加
申込

未来の光

有機ELを自分でつくる

— 有機エレクトロニクスを体感する —

次世代薄型テレビや低消費電力照明として期待されている「有機EL」の原理を、実験を通して楽しく学び、体験できるプログラムです。まず、白色有機ELの開発者、城戸淳二教授から有機ELの講義を受けた後、有機EL材料を合成し、光らせます。

後半は研究室の見学や質問コーナーの時間を確保しています。

実際に有機ELテレビや照明を体験し、クリーンルームなど最先端の有機エレクトロニクスの研究現場を見学します。

学校では勉強できないことを来てくれたみんなに教えちゃうよ♪



山形大学大学院
有機材料システム研究科
城戸 淳二 教授



参加無料

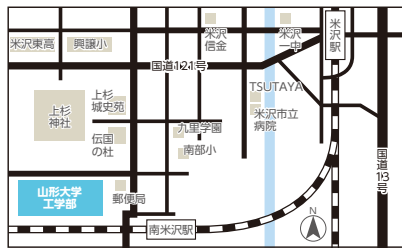
開催日時 2021年11月28日 13:30-17:00

開催場所 有機材料システムフロンティアセンター 11号館 5階
山形大学工学部米沢キャンパス内 〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

対象 中学生 (10名)

申込締切 2021年11月4日 (木)

※参加にあたっては保護者の同意が必要です。
※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に参加者の中学校に偏りがないように選考を行います。
選考結果は11月11日 (木) までに郵便 (またはメール) にて全員にご連絡します。



事業の詳細内容はHPからご覧ください

当日のスケジュール

受付を済ませ、13:30までに会場にお集まりください。
※筆記用具、ノートをご持参ください。

- 13:00-13:30 受付、開場 (有機材料システムフロンティアセンター 5階集合)
- 13:30-13:40 開講式 (挨拶、オリエンテーション (科研費の説明・本事業説明))
- 13:40-14:20 講演「有機エレクトロニクスについて」 (講師: 城戸 淳二)
- 14:20-14:30 実験の解説・準備
- 14:30-16:00 実験「未来の光、有機ELを作る」
- 16:00-16:30 研究室見学
- 16:30-16:45 城戸先生への質問コーナー
- 16:45-17:00 修了式 (アンケート記入、未来博士号授与)
- 17:00 終了・解散

山形大学米沢キャンパスの「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) における活動指針」に従い、感染防止対策を講じた上で実施予定です。今後の状況次第では、本学の活動レベルに応じて、プログラムの開催中止や感染が拡大している地域からの参加を制限する可能性があることをご了承ください。※現在 (令和3年10月7日時点) は「活動レベル【2】」で、緊急事態宣言の対象地域及びまん延防止等重点措置の対象地域からの参加は不可とします。※最新の状況は山形大学のホームページにてご確認ください。

参加申込

■ ホームページからお申し込みください

https://www.jsps.go.jp/hirameki/06_sanka.html

※「(I) Webから申し込む場合」の手順に沿って、申し込みをしてください。



※参加の可否は後日通知いたします。

お問合わせ先 山形大学米沢キャンパス研究支援課

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16 TEL.0238-26-3004 E-mail: koukenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和3年（2021年）10月7日

山形大学公開講座「ヒマラヤは美味しい」のご案内

【本件のポイント】

- 令和3年度山形大学公開講座「ヒマラヤは美味しい」を開催します。ヒマラヤ地域の特徴を学び、日常的な食事「ダル・バート」を作って試食します。
- 定員10名（ワクチン接種を2回完了していることが望ましい）。
- 受講料無料（別途材料費1,000円）。申込み受付は10/17（日）まで。



【概要】

山形大学公開講座「ヒマラヤは美味しい」（全2回）を令和3年10月23日（土）・30日（土）に開催します。ヒマラヤ地域の地理的位置、地形的特徴、気候、植生および栽培植物について学んだ上で、現地の人々の日常的な食事（ダル・バート）を実際に作って食べてみましょう。
定員10名（ワクチン接種を2回完了していることが望ましい）。受講料無料（別途材料費1,000円）。お申し込みは専用フォームから。

【講座の概要】

ヒマラヤ地域の地理的位置、地形的特徴、気候、植生および栽培植物について学んだ上で、現地の人々の日常的な食事（ダル・バート）を実際に作って食べてみましょう。

【プログラム】

10月23日（土）13:00～16:10

- ・ヒマラヤの自然環境・地理的位置と地理的特徴を知る。
- ・ヒマラヤの気候・植生と栽培植物を知る。

10月30日（土）10:00～14:00

- ・ダル・バートを作って試食しながらヒマラヤについて考える。

【講師】

山形大学教授 八木浩司、山形大学准教授 石垣和恵

【場所】 山形大学地域教育文化学部（小白川キャンパス、山形市）

【対象】 一般（ワクチン接種を2回完了していることが望ましい） 【受講料】 無料（別途材料費1,000円）

【定員】 10名 【申込期限】 2021年10月17日（日）

【お申し込み方法】 専用フォームからお申し込みください。

<https://www.ocans.jp/yamagata-u?fid=sWKye6dS>



お問い合わせ

小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室（企画広報）

TEL 023-628-4505 メール yu-kj-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ヒマラヤは 美味しい

期日

2021年10月23日(土)・30日(土)

受講料

無料

別途材料費1,000円

講師

八木浩司 | 石垣和恵

山形大学教授

山形大学准教授

対象

一般

*ワクチン接種を2回完了していることが望ましい

定員

10名

お申し込み

▶ 締め切り10月17日(日)

右のQRコード・URLからお申し込みください。

<https://www.ocans.jp/yamagata-u?fid=sWKye6dS>



*写真はイメージです。実際に調理するものとは異なります。

●ヒマラヤ地域の地理的位置、地形的特徴、気候、植生および栽培植物について学んだ上で、現地の人々の日常的な食事(ダル・バート)を実際に作って食べてみましょう。

10.23 (土) 13:00 ▶ 16:10

- ヒマラヤの自然環境・地理的位置と地理的特徴を知る。
- ヒマラヤの気候・植生と栽培植物を知る。



地域教育文化学部2号館3F
自然科学多目的第2実験室

お問い合わせ先

10.30 (土) 10:00 ▶ 14:00

- ダル・バートを作って試食しながらヒマラヤについて考える。



地域教育文化学部1号館4F
調理実習室

山形大学小白川キャンパス事務部総務課社会連携推進室

tel. 023-628-4505 e-mail yu-kj-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ヒマラヤは美味しい

ヒマラヤ

地域の地理的位置、
地形的特徴、気候、植生および
栽培植物について学んだ上で、現地の人々の
日常的な食事(ダル・パート)を実際を作って食べてみましょう。

10.23 土 13:00 ▶ 16:10

10.30 土 10:00 ▶ 14:00

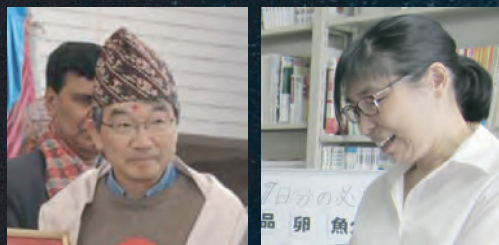
- ヒマラヤの自然環境・地理的位置と地理的特徴を知る。
- ヒマラヤの気候・植生と栽培植物を知る。

- ダル・パートを作って試食しながらヒマラヤについて考える。



講師

会場アクセス



八木浩司

石垣和恵

山形大学教授(変動地形学, 第四紀学)

山形大学准教授(家庭科教育)



山形大学地域教育文化学部

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

お申し込み

▶ 締め切り10月17日(日)

10月17日(日)までに右のQRコード・URLからお申し込みください。 <https://www.ocans.jp/yamagata-u?fid=sWKye6dS>

材料費1,000円は当日現金でお支払い頂きます。

受講方法、受講にあたっての諸注意を、お申し込み後にメールでご案内いたします。



令和3年（2021年）10月7日

ピアニストの舘野泉氏による公開講座を行います ～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～

【本件のポイント】

- ピアニストの舘野泉氏による公開講座。
- 平成29(2017)年度から実施している山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業で、今回で8回目。
- 学生にとっては、世界で活躍するプロの音楽家から講座を受けられる絶好の機会。



©山岸伸

【概要】

地域教育文化学部では、平成29（2017）年度から山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業として、山形交響楽団定期演奏会における招聘音楽家を本学に招き、地域教育文化学部文化創生コースの学生への公開講座を実施しています。

第8回目となる今回は、ピアニストの舘野泉氏を講師としてお招きし、ピアノ演奏とともに、フィンランドの自然や音楽等、様々なお話を伺います。学生たちにとっては、世界で活躍するプロの音楽家から講座を受けられる絶好の機会です。地域の皆さま方とこの貴重な時間を共有するために講座をzoom配信いたします。

【開催情報】

日時 令和3年11月15日（月）18:30開演

会場 山形大学文化ホール

山形大学学生のみ入場可能。一般の視聴希望の方はzoom配信を予定しております。

【講師紹介】

クラシック界のレジェンド、84歳ピアニスト。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。“舘野泉の左手”のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、100曲にも及ぶ。2020年、演奏生活60周年を迎えて開催の記念リサイタルの全国ツアーは各地にて大反響をよぶ。もはや「左手」のことわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿もたらす、最大の魅力である。舘野 泉公式HP <https://www.izumi-tateno.com/>

<参考>過去の公開レッスン開催日/講師

令和元年7月21日/オペラ指揮者 阪 哲朗氏

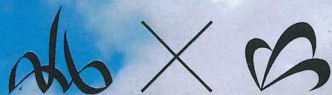
令和元年11月19日/チェリスト・指揮者 鈴木秀美氏

お問い合わせ

学術研究院教授（地域教育文化学部主担当） 渡辺 修身

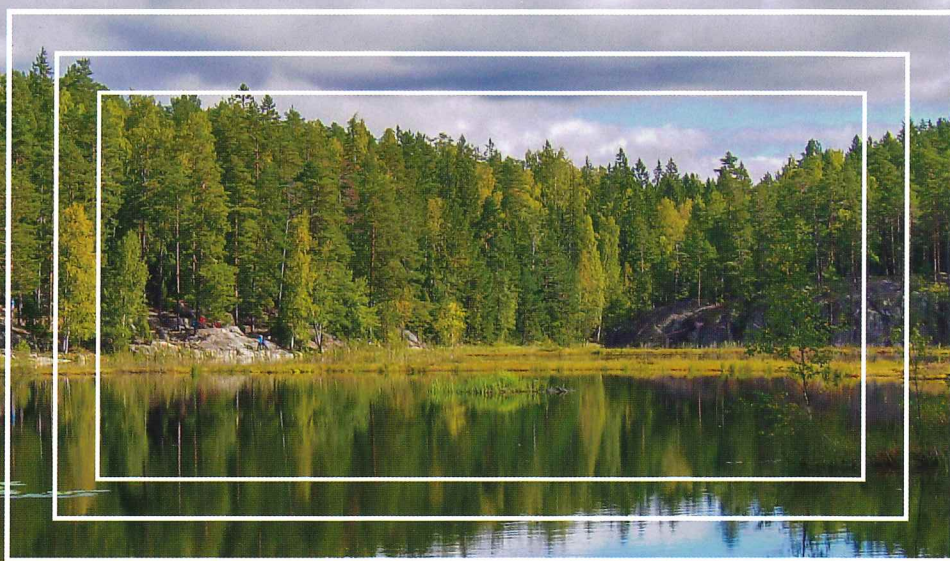
TEL 023-628-4336 メール sammy@e.yamagata-u.ac.jp

山形交響楽団



山形大学

しょうへい
招聘音楽家による公開講座
2021



山形大学では、「山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業」として、山形交響楽団定期演奏会の招聘音楽家による公開講座を行っています。2021年度は、クラシック界のレジェンド、ピアニストの館野泉氏をお招きし、ピアノ演奏とともに、フィンランドの自然や音楽等、様々なお話しを伺います。山形大学学生への講座ですが、一般視聴を希望される方もzoom配信で受講できます。

山形交響楽団
との連携による
音楽教育
推進事業

2021
11/15
MON 18:30~

講師紹介 館野 泉 [ピアニスト]

クラシック界のレジェンド、84歳ピアニスト。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。“館野泉の左手”のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、100曲にも及ぶ。2020年、演奏生活60周年を迎えて開催の記念リサイタルの全国ツアーは各地にて大反響をよぶ。もはや「左手」のことわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿もたらす、最大の魅力である。

館野 泉 公式HP <https://www.izumi-tateno.com/>

【曲 目】未定(決まり次第、地域教育文化学部HPへ掲載致します。) HP:<http://www.e.yamagata-u.ac.jp/>

【場 所】山形大学文化ホール 《入場無料》

【お問い合わせ】渡辺修身研究室 TEL: 023-628-4336 Mail: sammy@e.yamagata-u.ac.jp

※山形大学の学生のみ入場可能。一般視聴を希望される方は zoom 配信を予定しております。上記お問い合わせまでご連絡下さい。

令和3年（2021年）10月7日

本学教員が定期演奏会で山形交響楽団と共演

～ ピアニストとしても活躍中の三輪郁教授が地域の皆さんへ向け演奏披露 ～

【本件のポイント】

- 地域の皆様に愛され続ける山形交響楽団の定期演奏会に、ソリストとして本学教員・ピアニストとして活躍中の三輪郁教授が出演。
- 国際的に活躍する音楽家たちとの共演の経験を生かしながら、地域の皆様へ音楽、元気を届ける地域貢献の形に取り組んでいます。



【概要】

山形大学地域教育文化学部（山形市、学部長：大森桂）は、文化的な活動の実践を通じて価値の創造に取り組む「文化創生コース」（1学年約95名）を開講しており、音楽を専攻する学生たちも多く学んでいます。

本コースでピアノ演奏の指導を担当し、ピアニストとしても活躍中の三輪郁（みわ いく）教授が、第296回山形交響楽団定期演奏会（10月23日（土）・24日（日））にソリストとして出演します。地域教育文化学部と山形交響楽団は、現役演奏家による実技指導科目の開講や、特別公開講座の開催などでも幅広く連携中。今回の定期演奏会ではシューマンのピアノ協奏曲の他に、シューベルト、ハイドンの作品を地域の皆様へお届けします。

【第296回 山形交響楽団定期演奏会】

- ◆ 開催日時：令和3年10月23日（土）[19:00 開演]
10月24日（日）[15:00 開演]
- ◆ 会場：山形テルサホール（山形市）
- ◆ 出演者：（指揮）鈴木 秀美 （ピアノ）三輪 郁
- ◆ 曲名（予定）：シューベルト 交響曲 第7番 口短調「未完成」D.759
シューマン ピアノ協奏曲 イ短調 作品54
ハイドン 交響曲 第104番 ニ長調「ロンドン」Hob.I:104
- ◆ 主催：公益社団法人山形交響楽協会
- ◆ チケット情報などは山形交響楽団のコンサート情報ページをご覧ください。
<https://www.yamakyō.or.jp/concert/subscription/20211023.html>



【三輪郁教授より出演に関するコメント】

山形とのご縁を頂いて早4回目の秋を迎えます。温もりのある皆様のお人柄と厳しい自然が、食や芸術文化を育て、強靱な体や心を育てていくのだと実感し、日々新たな出会いにワクワクしています。私にとってシューマンは、ウィーン留学時代から特に思い入れの強い作曲家です。人物の魅力と愛がピアノ協奏曲にも音となって溢れ、どこまでも飽きさせません。今後も長く向き合っていきたいこのロマン派を代表する作曲家の名曲を、山形交響楽団の皆様と、そして共に敬愛する素晴らしい音楽家、鈴木秀美さんのタクトで皆さまにお届け出来るのは、この上ない喜びです。

【お問い合わせ】

小白川キャンパス事務部総務課（企画広報）

TEL 023-628-4505 メール yu-kj-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp